

Google Workspace で実現する これからのハイブリッドな働き方

2022/5/26

グーグル・クラウド・ジャパン 合同会社

カスタマー エンジニア

大隅典子 (Noriko) 川嶋洋介 (Kawassy)

01

新しい時代の働き方 ハイブリッドワークとは？

働き方^{Josh}の未来における3つの新しいテーマ^{Maria}



仕事は特定の場所ではなくなりました。

COVID 収束後も 48% のワーカークリモートワークを継続すると推定されています¹。



時間はますます貴重になっています。

働いている親の 4 人に 1 人は、在宅での保育を行っています



人と人とのつながりは不可欠です。

従業員の 3 人に 1 人が、企業文化や同僚とのつながりがないと感じています。

ハイブリッドワークへのシフトを示す現状

会議室がさらに必要

69%

の企業が会議室へのさらなる投資を検討しています¹

オフィスワークとテレワークの両立

85%

のオフィスワーカーがなんらかの形でオフィスに復帰することを望んでいる²

パンデミック後のビデオ会議の使用

78%

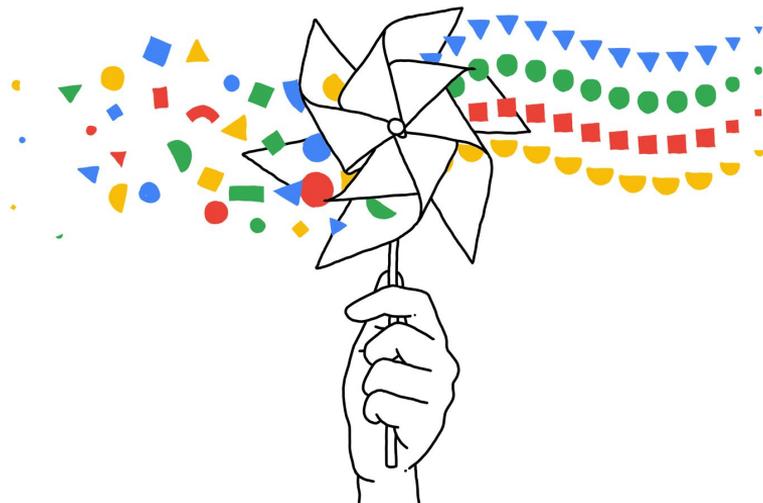
のIT決定権者がビデオ会議の活用比率が高まると見込んでいる³

Source: ¹Wainhouse - State of the Market: Group Video Conferencing - Feb 2021 ²Eden Workplace Return to Office Survey - Feb 2021

³Wainhouse Survey Insight: Meeting Room Video Conferencing Trends, Drivers and COVID-19 - MRDMs Q2 2020

02

Google が取り組む ハイブリッドな働き方



Google 社員の リモートワーク移行による影響

- 一夜でオフィスで働く文化から 100% リモート化へ
- 一体感と成長を促すデジタル体験の重視
- 100% リモート環境で何千人もの 新規社員 を
オンボーディング
- 情報、グループ、コンテンツ、チャットへのアクセスを通じた
包括性と、リモート環境での有機的な雑談の時間の創出
- ミーティングや時間管理が仕事をするうえで重要な
要素となる



今こそ働き方を変えるチャンスと捉える



“私は未来はより柔軟なものであると考えています。困難な問題を解決したり新しいものを作りあげる際には、面と向き合い、コミュニティの感覚を持ちながら一緒に進めていくことが重要であると固く信じています。そのため、そうした部分まで変化していくとは考えていません。ただ、私たちはさらに柔軟性を高め、よりハイブリッドなモデルを構築する必要があるも考えています”

[Sundar Pichai, Alphabet CEO](#)

在宅勤務
週 2 日



オフィス勤務
週 3 日



今こそ働き方を変えるチャンスと捉える

なぜ、Google の社員は週に数回 Office で働くのか？

Innovation を起こし続けるため

- 偶然の出会いを促す
- Collaboration を推奨する
- ムダに見える時間を本当に大切に
- 仕事はどこからでも出来る
- リセット・デイは重要
- フォーカスする時間を確保する



"Campfire" は、直接の参加者と遠隔地の参加者が平等に参加できるようにするためにテストされている実験の1つ

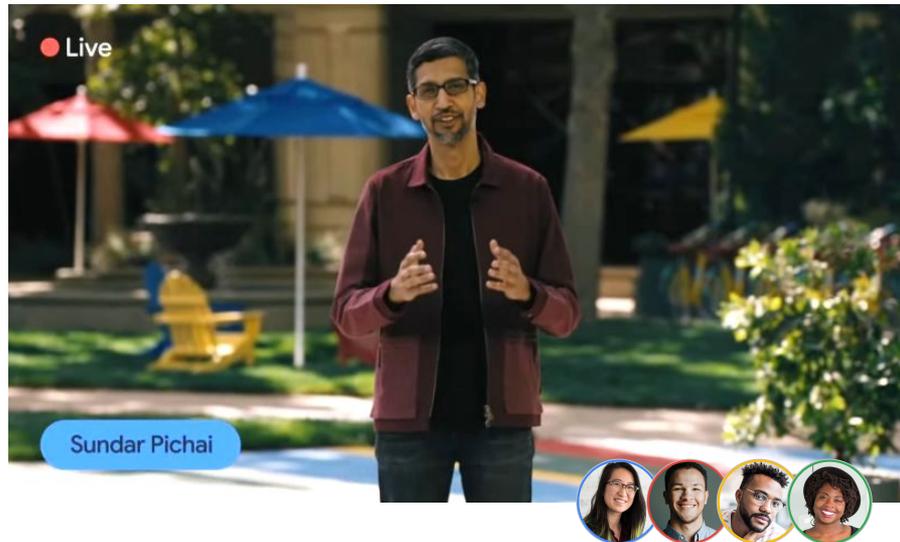
Google がハイブリッドな働き方に戻る方法

Maria

従業員として働く場所の**柔軟性**。

組織としてのコラボレーションの方法の**一貫性**。

ニーズの変化に対応した**コラボレーションとアジリティのために構築された物理的スペース**。

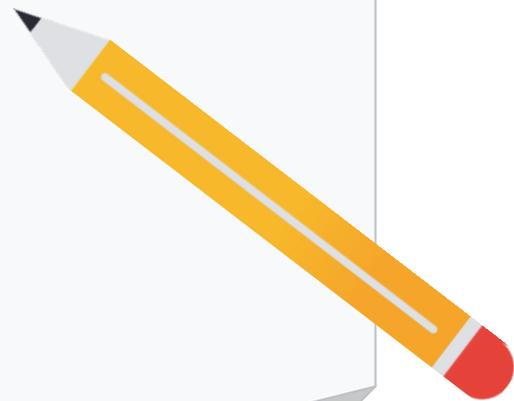


どこで仕事をしていても、すべての人に**公平で包括的な**エクスペリエンスを提供。

高可用性のある**文化、知識、スキル**。



ハイブリッドワークを成功させる
ために Google が課題と
考えたことはなんでしょう？



Google での調査から見た新しいワークスタイルの課題

”つながり”の質が低下する

gDNA Survey 調査項目:

バーチャルでも直接会って話すのでも、
どちらも**同じレベルの臨場感**が得られる

55%

そう思う

バーチャルの会議では、直接会議に出席しているとき
と同じような**会議メンバーとの一体感**が得られる(その
場にはいないことでの疎外感を感じない)

37%

そう思う

03

ハイブリッドワークにおける 繋がりの質を向上させる

新しいワークスタイルの課題解決- Google での施策



3Ps をチーム内でのコミュニケーションの約束にすることで
つながりの質の向上に全員が努力



Place

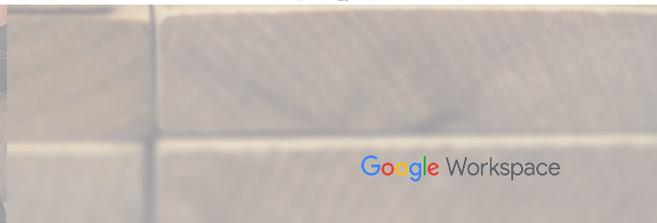
場所

People

人

Practices

習慣



“Place” 場所: 物理的なスペース、タイムゾーン、テクノロジーにフォーカス



Work from home の執務環境づくりのTips、体験談をカジュアルにシェアし合う



カレンダーを共有し、ミーティング・執務・プライベートの時間等を共有



コミュニケーションの目的ごとに使用するツールを決めて、コラボレーションしやすく



集中できる環境作りに努力しつつ、お互い「ハプニング」に寛容に

ペットや小さな子供がバーチャルミーティングに出てきてもOK

“People” 人: 関係性にフォーカス



バーチャルコーヒータイムなどで、雑談の場を意識的に確保



チーム会議を優先し、チームメイトを表彰する



出来る限り、ミーティング中のウェブカメラはONに
アイコンタクトの重要性



カレンダーで働ける時間を開示しておけば、
時間管理は個人が行えるという共通認識の醸成

“Practices” 習慣: コミュニケーションの構造と規範にフォーカス



あらゆる手段で頻繁に、リーダーから発信



いつもより頻繁にミーティングをセットして、進捗管理



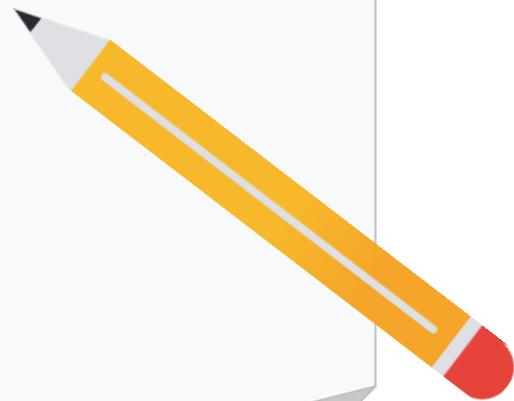
意見のある全員が発言できる Inclusive な議事進行のルール作り・トレーニング



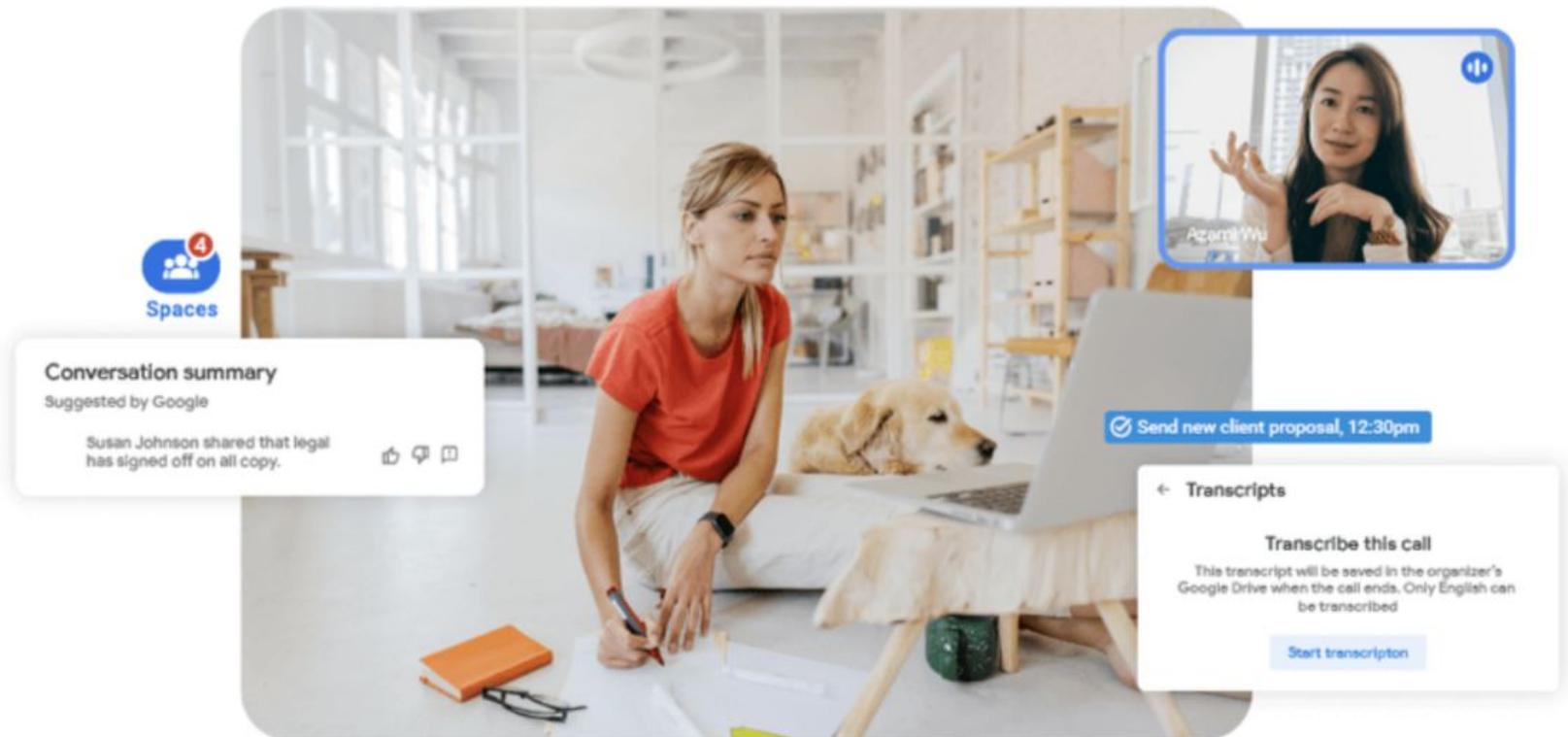
チャットやスペースも交流・ノウハウ共有に積極活用



ハイブリッドワークを成功させる
ために Google が 2022 年の
Google I/O で発表した機能は
何でしょうか？



今年も Hybrid な働き方を支援する多くの機能が発表されました

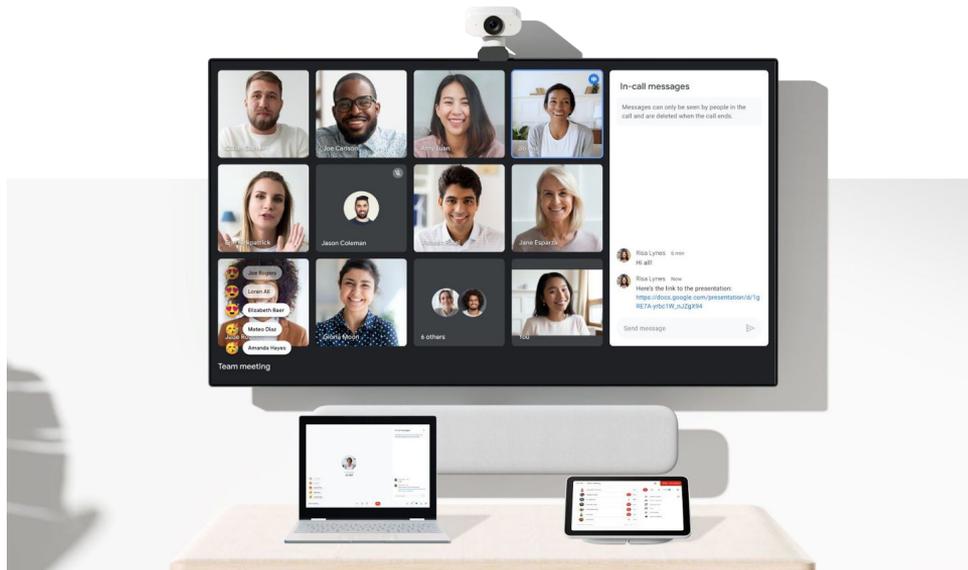




Flexible

Companion mode

コラボレーションの公平性のために、コンパニオンモードでは、**会議室**にいても**離れた場所**にいても、**挙手、投票、Q&A**などに**平等に参加**できます。





Thank you.